

平成 25 年度事務事業評価調書

事業コード	06040402	区 分	<input type="checkbox"/> 実行 <input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名	村表彰事業	担当部署名	人事財政課
		作成責任者職氏名	課長 松村英典
		内線	210
第4次総合計画 体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	06協働・行政経営	04健全な行財政運営	04人材育成と能力開発
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年 <input type="checkbox"/> 継続 (年度～ 年度)		実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	千早赤阪村表彰条例
		義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>本村の住民、団体及び本村に縁故の深い者で、村政又は公益に関し功労又は善行のあった者を表彰し、村の健全な発展を促進する。</p> <p>②内容</p> <p>文化の日に功労者及び善行者に対して、表彰縦横及び記念品を贈呈する。行財政改革の取組等により隔年実施。</p>	<p>千早赤阪村の住民及び団体</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>功労者に対しては功を、善行者に対しては善行を称える。</p>	<p>対象者の減少</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	23 年度 実績	24 年度		25 年度 事業費(見込)	26 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	0	198	144	0	198			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源	0	198	144	0	198			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.00	0.10	0.10	0.00	0.10		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	0	555	555	0	555		
総コスト費(千円)(A+C)	0	753	699	0	753			
人口あたりコスト(円)	0	124	115	0	124			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	24 年度			25 年度 目標値	26 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	村表彰の開催	回	1	1	100%	0	1
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 100% / 1 = 100% (A)

(1/2)

Ⅲ 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	村への貢献者を表彰する行為は適当である。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	村の健全な発展に貢献する。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	隔年実施により、被表彰者数は適当な数となっている。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	2 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	隔年実施により、住民の表彰時期にズレが生じる。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16) **12** / 16 **75%** (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
100%	75%	88%	b
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

Ⅳ 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等
B ← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止	本事業は隔年実施であり、実施しない年度もあるが、平成24年度は実施時期であり、村功労者に対しては功を、善行者に対しては善行を称えるため、次年度以降も隔年で引き続き実施する。

Ⅴ 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果		
(2)第三者による有識者会議結果	(3)行政経営戦略会議結果	
本事業は隔年実施のため、平成23年度は実施しなかったが、村功労者に対しては功を、善行者に対しては善行を称えるため、引き続き実施する必要があると考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止	本事業は隔年実施のため、平成23年度は実施しなかったが、村功労者に対しては功を、善行者に対しては善行を称えるため、引き続き実施する必要があると考える。
	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止	
	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止	